

「普通授業開始日までの学修課題」に関する説明

幼児教育学科 1年生の皆さんへ

郡山女子大学短期大学幼児教育学科へのご入学、誠におめでとうございます。

この度、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、**普通授業開始が5月11日（月）**に延期になりました。およそ1か月の間は、自宅等で有効に時間を活用し、ご自身及びご家族の生命の安全を確保してください。

幼児教育学科では、学長先生のご指導の下、**5月11日（月）までの“おうち時間”を有効に活用し**、各自で学びを深められ、普通授業開始からの学修がより円滑にスタートできるよう、この「普通授業開始日までの学修課題」を作成いたしました。

この「**普通授業開始日までの学修課題**」は、**幼児教育学科1年生が1期に学修する授業内容を踏まえたものであり、皆さんの学修習慣の形成・維持が主たる目的**です。皆さんが、在宅で学修を進められるように考慮した課題設定をしています。幼児教育学科では、この「**普通授業開始日までの学修課題**」への取り組みの状況を、**1期開講の授業における「授業への参加・取り組み」等の項目を評価する際に考慮する方針**です。

なお、「普通授業開始日までの学修課題」本体については、学園のウェブサイトにおいて、PDFの状態ですアップロードされます。本日配布したものが、万が一、印刷不鮮明等の状態でしたら、お手数ですが、学園のウェブサイトにてダウンロードしてください。

最後になりますが、皆さんが一人の大人として、子どもの生命を預かり、育む保育者を志す者として、各自の健康を損なうことなく、自分自身とご家族等の周囲の方々のことをよく考えた行動を取ってくださることを切に祈ります。

令和2年4月17日（金）

幼児教育学科 教員一同

「普通授業開始日までの学修課題」への取り組み方

1. 課題の区分

… 課題は次のような区分で作られています。区分に即して取り組んでください。

(1) 【幼児教育コース】の学生の場合

以下の【コース共通】及び【幼児教育コース】の科目区分に即して、合計で4つの科目の課題に対して取り組んでください。

【コース共通】：A～E クラス

次の7つの科目から2つの科目を選んで、その科目の課題にすべて取り組んでください。

- ① 「保育原理」(担当：山上先生)
- ② 「保育者論」(担当：安部先生)
- ③ 「教育心理学」(担当：折笠先生)
- ④ 「乳児保育Ⅰ」(担当：永瀬先生)
- ⑤ 「総合英語コミュニケーション」(担当：バーナミィ先生)
- ⑥ 「保育実習指導Ⅰ」(担当：小林先生・安部先生)
- ⑦ 「教育実習Ⅰ」(担当：柴田先生・安部先生・山上先生・仲西先生)

※「教育実習Ⅰ」の課題2「幼稚園教育要領解説 p23～45 を読み、自分なりに大切だと思った内容を600～800字でまとめる」については『幼稚園教育要領解説』の教科書購入が間に合わなかったことから削除します。

【幼児教育コース】：A～D クラス

次の4つの科目から2つの科目を選んで、その科目の課題にすべて取り組んでください。

- ① 「保育表現技術 器楽Ⅰ」(担当：三瓶先生)
- ② 「保育表現技術 音楽Ⅰ」(担当：三瓶先生)

※「保育表現技術 音楽Ⅰ」の課題3「NHK テレビの幼児向け音楽番組（おかあさんといっしょ等）を観て、以下の視点から感想を書いてください」について、「以下の視点」は入学式後の主任講話でもあった通り、①場面の構成、②子どもたちの様子、の二つの視点です。

- ③ 「保育表現技術 体育Ⅰ」(担当：柴田先生)

※「保育表現技術 体育Ⅰ」の課題2「テキスト p88～114 までを読み、自分なりに大切だと思った内容を600～800字でまとめる」についてはテキストの購入が間に合わないことから削除します。

- ④ 「保育表現技術 造形Ⅰ」(担当：草野先生)

(2) 【チャイルドミュージックコース】の学生の場合

以下の【コース共通】及び【チャイルドミュージックコース】の科目区分に即して、合計で4つの科目の課題に対して取り組んでください。

【コース共通】：A～E クラス

次の7つの科目から2つの科目を選んで、その科目の課題にすべて取り組んでください。

- ① 「保育原理」(担当：山上先生)
- ② 「保育者論」(担当：安部先生)
- ③ 「教育心理学」(担当：折笠先生)
- ④ 「乳児保育Ⅰ」(担当：永瀬先生)
- ⑤ 「総合英語コミュニケーション」(担当：バーナミィ先生)
- ⑥ 「保育実習指導Ⅰ」(担当：小林先生・安部先生)
- ⑦ 「教育実習Ⅰ」(担当：柴田先生・安部先生・山上先生・仲西先生)

※「教育実習Ⅰ」の課題2「幼稚園教育要領解説 p23～45」を読み、自分なりに大切だと思った内容を600～800字でまとめるについては『幼稚園教育要領解説』の教科書購入が間に合わなかったことから削除します。

【チャイルドミュージックコース】：Eクラス

次の2つの科目の課題にすべて取り組んでください。

- ① 「ボーカルⅠ(主科・副科)」(担当：磯部先生)
- ② 「ピアノⅡ」(担当：横溝先生)

2. 課題は日々コツコツ取り組みましょう。

… 今回の課題の提示は、学修習慣の形成・維持が主たる目的ですから、日々のご自宅等での“おうち時間”のなかに**1時間でも2時間でもいいので、机に向かう時間を確保**してください。

3. 提出様式・期日を守りましょう。

… 課題の提示にあたって、課題ごとに提出様式等を明記しています。よく参照してください。

現状、課題の提出は、普通授業開始日の5月11日(月)以降の科目ごとに、初回の授業時間に行う予定です。したがって、**5月11日(月)までにはすべての課題に取り組んでおいてください。**

4. この課題は成績に反映されます。

… 幼児教育学科では、この「普通授業開始日までの学修課題」への取り組みの状況を、Ⅰ期開講の授業における「授業への参加・取り組み」等の評価項目について点数付けする際に考慮します。

なお、以下のような基準で評価します。

評価区分	基準の規定内容	変換率※
S	課題の様式を守っており、解答内容が特に優れている。	90-100%
A	課題の様式を守っており、解答内容が優れている。	80-89%
B	課題の様式等に不備はあるものの、期日までに取り組んでおり、全ての課題に解答している。	70-79%
C	提出遅れや未提出課題が僅かにあるものの、ほぼ全ての課題に解答している。	60-69%
F	提出遅れや未提出課題が複数あり、課題への解答がなされていない。	0%

※ たとえば、ある授業の評価において、「授業への参加・取り組み」の評価項目が10点満点で付けられる場合、「S」評価であれば、9-10点の間で点数が付くことを意味します。